

小畑新市政スタート



4月21日に行われた市長選挙で小畑元氏が初当選し、新市政が5月1日からスタートしました。

小畑市長は、5月1日午前9時に職員や市民に拍手で出迎えられて初登庁。午前10時から市庁舎議場で行われた就任式のあいさつでは、「市長が替わっても行政の流れを変えず、継続しているものも含めて公約したことを一つ一つ確実に実行していき、市政発展のために頑張りたい。また、市民の皆さんの声をよく聞き、市民の皆さんに奉仕する心構えで、初心を忘れずに感謝と忍耐の心をもって仕事を進めていきたい。」と述べました。

これに先だち、4月26日午後4時からには畠山前市長の退任式が同議場で行われました。畠山前市長は、退任のあいさつで「職員の皆さんには大変ご苦勞をかけた。新市長を私以上の協力で支え、市政発展のために努力してほしい。」と述べ、式終了後は職員に見送られながら、市庁舎を後にしました。12年の間、本当にご苦勞さまでした。



▲職員や市民に出迎えられて初登庁する小畑新市長

▶市庁舎を後にする畠山前市長

就任のごあいさつ

大館市長 小畑 元



今回の市長選挙では、市民の皆様の大変なご支持を頂きまして、心からお礼申し上げます。

「大館の流れを変えなければならぬ。大館はもっと強く、たくましく、そして豊かに発展しなければならぬ。」という声

がその結果を生み出したのです。本来、大館は県北の中心都市としてとも力のある都市で、農業、林業そして鉱工業という三大産業を中心に発展してきました。ところが、オイルショックとそれに続く円高により、鉱工業などの基幹産業が痛手を受け、秋田県第二の都市としての地位が脅かされてきました。もちろん、市民の皆さんは、この状態ではだめだ、なんとかしなければという気持ちから、いろいろ努力をされてきました。

しかし、個々人の努力には限界がありますし、また、大館市だけの努力では、強い基幹産業への大転換を行うことが困難だということに気がついてきたのです。

私は、遅れた開発を一挙に取り戻すため、今まで以上に国、県、市が一体となった行政を行うべきであると、今回の選挙で訴えてきました。都市の基盤整備を公共事業を中心に強力に行うことは、生活環境や産業振興にプラスになるだけでなく、大館の経済の活性化のためにも一石二鳥の効果があります。

そのためには、大館能代空港の実現、バイパスの早期完成、下水道の整備、短大の誘致、長木ダムの早期完成、大町・駅前等商店街の整備、大型企業の誘致、収益の多い農業への転換など、私たちがやらなければならぬ目標は極めて明確です。

私は、それらの実現に向けて、全力を尽くして頑張ることを市民の皆様にお誓いいたしますので、皆様のより一層のご協力、ご支援をお願いいたします。

みなで元気な大館をつくりましょう。